

令和4年度 山口県医師会有床診療所部会 第1回役員会

と き 令和4年6月9日(木) 15:00～16:00

ところ 山口県医師会6階 第3会議室

[報告:山口県医師会有床診療所部会会長 正木 康史]

伊藤県医師会理事の司会により開会した。

挨拶

河村康明 山口県医師会長 有床診療所を取りまく経営環境は厳しい状況にあり、また、先生方の高齢化もあって病床を閉められる医療機関も多くみられ、ピーク時の有床診療所数は2万5千を超えていたが、現況では約6千施設まで減少してきている。産婦人科は生き残れるが、内科、外科系は今後も厳しい経営状況が続くのではないかと危惧している。今回の診療報酬改定で有床診療所の入院部門でのかなりの点数の引上げがあったが、もう少し早くから評価をいただけていたら良かったと感じている。今月には日医役員選挙が実施され、松本吉郎 日医常任理事の日医会長当選が有力視されているが、松本先生は中学時代まで下松市で過ごされ、山口県のことは良く知っておられる。

正木 本日はお忙しい中、役員会にご出席いただきありがとうございます。コロナ感染症に関してはまだまだ収束の見通しが立たない状況にあり、山口県内の感染者数も4万6千人を超え、すでに県民30人に1人以上感染した計算になる。どうしても医療従事者への感染機会も増え、われわれの医業経営にも影響を及ぼす場合も考えられ、後で役員の皆様の状況をお伺いしたい。さて、こ

の4月には診療報酬改定があったが、有床診療所にとっては初期加算の大きな引上げがあり、かなりの入院収益増をもたらしてくれるものと考えられる。初期加算に関して新たな施設要件の追加があり、私のほうにもかなりの問い合わせが来ているので、後で報告させていただく。また、今年6月には日医役員選挙、7月には参議院議員選挙が予定されているが、全国有床診療所連絡協議会としての対応方針についても後で説明させていただく。本日はご協議の程よろしく願います。

議題

1. 令和3年度事業報告(案)について

今秋開催予定の部会総会に諮った後に詳しく報告するが、主な事業として、県医師会関係では、年1回の総会(令和3年10月7日)、年2回の役員会(令和3年6月24日及び10月7日)、全国有床診療所連絡協議会関係では、第34回全国有床診療所連絡協議会総会(徳島)、3回の役員会、2回の常任理事会、1回の自民党「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」会議などを行った。全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会関係では、広島県医師会からWeb形式での総会・役員会・講演会(令和4年1月23日)を開催した。また、正木が日医診療報酬検討委員会に委員として出席した。

出席者

部会

部会長 正木 康史
副部会長 阿部 政則
理事 吉永 栄一

理事 樫田 史郎
理事 伊藤 真一

県医師会

会長 河村 康明
常任理事 前川 恭子
理事 藤原 崇

2. 令和4年度事業計画（案）について

事業計画案として、部会の総会と2回の役員会の開催、第35回全国有床診療所連絡協議会総会（山梨）、中国四国ブロック会総会や全国有床診療所連絡協議会役員会・常任理事会への参加などを予定している。また、正木が自民党議連会議や日医診療報酬検討委員会などに出席し、必要な情報はいち早く部会員に伝達する。

3. 令和4年度総会について

令和4年度総会は令和4年10月6日（木）に県医師会館において15時20分から開催することを決定した。令和3年度事業報告、令和4年度事業計画（案）などについての協議を行う予定である。

4. 自民党「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」役員について

コロナ感染症の収束の目途が立たない状況にあって、長らく自民党の「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」を開催することができなかったが、昨年12月13日（月）に1年半ぶりに議員連盟総会を開催することができた。昨年10月の衆議院議員選挙後の開催で、選挙結果のこともあり、今回の総会で議連会長は野田 毅 議員から加藤勝信 議員に、事務局長は富岡 勉 議員から羽生田 俊 議員への交代が総会で承認された。引き続き力強いご支援がいただけるものと考え

5. 令和4年度診療報酬改定に対する評価

従前の有床診療所一般病床初期加算は1日につき150点、14日を限度であったが、これが有床診療所在宅患者支援病床初期加算では1日につき300点、21日を限度と、大幅な点数及び日数の引上げがあり、われわれ有床診療所としては評価できる改定であったと考える。

6. 有床診療所在宅患者支援病床初期加算の算定要件ひな型について

今改定で有床診療所在宅患者支援病床初期加算は、1日につき300点、21日を限度と大幅な点

数及び算定日数の引上げがあったが、算定要件に「当該診療所において、適切な意思決定支援に関する指針を定めていること」が追加され、私の所にも届出方法や施設基準のひな型等の問い合わせが多く来ていた。そこで、本年4月30日（日）に全国有床診療所連絡協議会主催で診療報酬改定に関する講演会「2022 診療報酬改定の内容と対応策（講師：（株）リンクアップラボ 酒井真由美先生）」を福岡市で開催した。酒井先生に前もって初期加算の新たな施設要件のひな型作成を依頼し、そのひな型を講演会で発表いただき、使用許可もいただいた。講演内容は全国有床診療所連絡協議会のホームページに掲載しており、施設要件のひな型も入手できるので、よろしく願いたい。

7. 令和4年度第1回全国有床診療所連絡協議会役員会報告

本年6月5日（日）に令和4年度第1回全国有床診療所連絡協議会役員会がWeb形式で開催された。6月の日医役員選挙、7月の参議院議員選挙が主な協議事項で、日医会長選挙では有床診療所問題に理解の深い松本吉郎先生を全国有床診療所連絡協議会として推薦することを決めた。また、参議院議員選挙に関しては、日ごろより有床診療所問題に取り組んでいただいている自見はなこ議員がサポーター獲得等で苦戦しているとのことで、全国有床診療所連絡協議会として推薦状を出すとともに、サポーター獲得等に積極的に協力していく方針を決めた。

8. その他

部会長挨拶でも言及したが、まだまだコロナ感染症の収束の見通しが立たない状況にあり、山口県内の感染者数も4万6千人を超え、どうしても医療従事者への感染の機会も増えることから、それに関する役員の皆様の状況をお聞きした。

ほとんどの役員の皆様の医療機関でも看護師を含む職員の感染、あるいは職員が濃厚接触者となり休職するなど、医療提供体制に少なからず影響があったが、何とか通常の体制を維持することができているとの状況で、安堵したところである。